

JAしまねびより 11

2017

November Vol.20

特集 島根のいいもの再発見!! 「海士町 みかん」 隠岐どうぜん地区本部



Naomichi



燧火神社(隠岐郡西ノ島町)

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



みかん作りのために1ターンしてきた丹後さん(右)と白石さん

【海士町 みかん】

11月は、隠岐どうぜん地区本部。海士町の最南端に位置する崎地区へ1ターン、みかん栽培の再生に挑戦している、丹後貴視さん、白石宗久さんにお話をお伺いしてきました。



潮風いっぱいを受ける丘陵地に定植された島育ちの苗

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

崎地区のみかん再生とは、 どういうものですか？

崎地区では昭和30年代からみかんの生産が始まり、最盛期の40～50年代には生産者十数人で10ヘクタールを上回る栽培面積で生産、おもに隠岐郡内で販売されていました。崎地区は、海に面して日当たりも良く、甘みと酸味のバランスの取れた美味しいみかんが実り、通称「崎みかん」として住民からずっと愛されてきました。しかし外国産オレンジの台頭や栽培農家の高齢化・後継者不足等で、50～60年代に多くの農家が生産を辞め、みかん畑には杉や松(ひのき)が植林されました。近年は高齢の生産者4人、栽培面積0.4ヘクタールまで減少し、崎みかんは消滅の危機にありました。こうした状況の中、海士町が地域起こし協力隊の制度を活用し、みかん農家を募集。私たちはそれに応募、1ターンしてきました。海士町の皆さんはもともと、みかんが大好きで、食べたいという要望も多いことから、平成25年に「崎みかん再生プロジェクト」

収穫できるみかんの木は現在、引き継いだ約1ヘクタールの畑で100本、年間8トン前後収穫しています。プロジェクトがはじまって、平成26年に400本、27年1,200本、28年1,800本を定植しました。おもな品種は昔から育てられてきた興津早生(おきつわせ)です。現在は2カ所で栽培面積延べ4ヘクタール、合計約2,800本の苗木が育っています。みかんは苗木を植えてから3年で実がなることから、順調に進むと平成32年の東京オリンピック時には現在の3倍程度の収穫が期待できま

現在はどのような状況ですか？



崎みかんの再生は島でも注目のプロジェクト

として活動を開始しました。

す。最終的には定植した本数で、100トン前後の収穫量を目標にしています。



日本海を見下ろす南向きの斜面に広がるみかん畑

みかん栽培をはじめて大変なことなどありますか？

まず何よりも大変だったことは、はじめての就農ということに加え、みかん栽培自体、右も左も分からない状態からスタートしたことです。

当初、瀬戸内海の大崎上島（おおよそかみじま）へ栽培技術研修に2週間あまり行き、その後もアドバイスをいただいています。土壌環境や気候も違います。生育させるため、何が正解で、何が間違っているのかもわかりませんでした。夏場の草刈りが特に大変で



みかん作りの魅力や課題を熱く語る白石さん

ですが、いつ刈ったら良いか、どれくらい草が伸びたら刈れば良いのか、どれくらいのか、サイクルで刈れば良いのか、試行錯誤しながら一歩一歩、少しずつ経験を積んで前に進んでいます。隠岐牛の牛糞を活用した堆肥（たいひ）や、冬場の防寒対策として木の根元に海藻やウニの殻などを敷き詰めたり、ワラで作った衣を被せたりと、昔ながらの島の知恵を地元の方から教えても



昔ながら島ならではの工夫を聞き、取り入れ、実践

らい実践しています。移住し就農してからざっと5年になりましたが、正直、こんなに大変だとは思いませんでした。ただ、海士町役場、JAしまね、地域の皆さん、色んな人達が親身になって明るく協力してくださり、支えてくださるので、使命感が湧き続け、大変ながらも楽しく、とてもやりがいを感じています。



みかん作りの拠点となる「旧崎小学校」

今後の抱負や展望を聞かせてください。

苗木を大切に育てながら、なるべく早く生産体制を確立し、収穫量を増やしていきたいです。まずはお世話になった地域の皆さんに復活した「崎のみかん」をたくさん食べていただきたい。収穫規模が拡大すれば将来的には人員も必



みかん畑は、誰でも入りやすい環境を目指して整備が続けられている

要となってきました。そのため、女性でも就農できる体制作りにも力を入れ、急斜面に木が立ち並ぶのではなく、段差をなるべく緩くして働きやすい農場作りにもこだわっています。島の皆さん、島根全体、県外への出荷へと、この昔懐かしい美味しい「崎のみかん」を多くの方に味わっていただきたいと夢を描いています。



みかんを収穫する島の子どもたち

海士町 みかん 一口メモ

みかんは冬でも葉をつけている常緑樹で、生産は気候に大きく左右される。年間の平均気温が15℃以上で、最低気温マイナス7℃が限界とされる。和歌山や愛媛、静岡などで盛んに生産されている。海士町の崎地区は冬場マイナス6℃まで気温が下がり、販売目的のみかん栽培では、日本最北端の地と言える。海士町の中でも崎地区は冬と夏の気温差が激しい。厳しい環境の中でたくましく育ったみかんは、薄皮で身が詰まっており、甘みと酸味のバランスが絶妙で美味しい。



雲南

大人気の加工餅 製造ピークを迎える

雲南地区本部の人気商品の1つ「仁多もち」「飯南もち」の製造が最盛期を迎えました。祭事や年末年始用の「ひかり餅」と「粉餅」を製造しており、子どもからお年寄りまで味わえる「こだわりの味」を届けています。

同地区本部では、奥出雲もち加工場と頓原もち加工所の2か所でもち加工を行っており、9月から来年3月頃までに年間300トンの製造を見込んでいます。

この加工餅のこだわりは「搗(つ)きたて、杵つき」製法。精米したての管内産もち米を100%使用し丁寧に搗きあげられた餅は、食べた時の滑らかさやほど良い粘りと歯切れが特徴。管内のAコープ店舗や産直の他にも、関東・関西地方の百貨店やスーパーなどでも販売しています。

同地区本部営農部農産加工課の福田忠課長は「生産者の思いがこもったもち米を、自慢の製法で加工している。こだわりの餅を皆さんにお届けしたい」と話しました。



袋詰めされた餅を箱詰めする職員

くにびき

八雲農縁隊が休耕田の草刈り

農家が抱える課題の解決に取り組む「八雲農縁隊」が10月11日、八雲町内にある休耕田の草刈りを実施しました。メンバーは自前の草刈り機で手際よく雑草を刈り取りながら、汗を流しました。

同隊は、八雲支店運営委員会(山根盈樹委員長)のボランティア活動の一環として、平成25年に発足。農家の高齢化が進み、維持管理が難しくなった農地が増える中で、地域住民から「何とかしてもらえないか」との要望を受けて結成されました。「地域との縁を結ぶ」という思いを込めて、農縁隊と名付けて、同町内を中心に草刈りなどの活動を展開しています。

当日は、運営委員と支店職員ら6人が参加。約35アールの休耕田のあぜ道には、セイタカワダチソウやススキなどの雑草が生い茂っていましたが、2時間ほどで全ての草を刈り終えました。山根委員長は「草刈りをしてほしいという要望が増えている。他の組織との連携を模索しながら、現在の活動内容を見直さないといけない」と話しました。



雑草を刈っていく農縁隊のメンバー

隠岐

隠岐のこだわり米 「島の香り隠岐藻塩米」

隠岐地区本部では、隠岐の島町産のこだわり米「島の香り隠岐藻塩米」のブランド化に向けて、生産者と一緒に取り組んでいます。

この米は、平成15年からコシヒカリでの試験栽培を経て、現在は首都圏を中心に出荷し、また地元の飲食店などへも供給。平成25年からは、こだわりのお米屋さん「(株)スズノブ」の西島豊造社長、「(株)はくばく」和穀の会事業部の方々にアドバイザーとしてご協力いただき、本年度は18人の生産者が約40ヘクタールのほ場で栽培しています。

現在は、より高いレベルでの品質の統一や食味の平準化を進めるため、肥料の無償供給やライスセンターでの全量最終調整の採用など、これまで以上の品質で消費者へお届けできるよう取り組んでいます。

平成28年からは、安定して高品質な「きぬむすめ」での藻塩米栽培も本格化しており、本年度は3人の生産者が「美味しまね認証」を取得し、1.95mmふるい目を使用した「島の香り隠岐藻塩米特選きぬむすめ」として1,049袋を出荷しました。



やすぎ

やすぎ恋花まつり開催

やすぎ花卉部会は10月7・8日の2日間、安来市中海町の道の駅あらエッセで「やすぎ恋花まつり」を開催し、生産者が市内外にやすぎの花をPRしました。安来市は県内有数の花の産地で、同部会では72戸の農家が生産に当たっています。

イベントでは、安来産の色とりどりの花を使ったフラワーアレンジメントやDIYガーデニングの無料体験、地元幼稚園・保育園児が描いた花の絵展示、消費者による花の人気投票など、華やかな会場に多くの人々が訪れました。アレンジメントに参加した児童は「去年も参加したけど、きれいなお花をいけることが出来て楽しい」と話しました。

同部会の小池隼己部会長は「今後も花の品質向上を図りながら、イベント等を通してやすぎの花の知名度アップと消費拡大を目指していきたい」と意気込みました。



JA女性部が 園児たちと芋ほり体験

10月10日、JAしまね斐川女性部は食農教育の実践として、東部保育園、荘原保育園、荘原幼稚園の園児たちを招き、5月に一緒に植えたサツマイモの苗「紅はるか」700本の収穫作業を行いました。当日は天候に恵まれ、秋晴れの下、女性部と園児たち合わせ総勢100人での作業となり、大変にぎやかな芋掘りとなりました。

今年は芋の出来が良く、大きいものも多く、園児たちも笑顔で収穫し「見て見て～、大きな芋が採れたよ」「自分の顔と同じくらいだね」と喜んでいました。収穫を終えた後で、園児たちは女性部が用意した蒸かし芋を美味しく食べていました。収穫した芋は保育園、幼稚園に配られ焼き芋にされる他、女性部の活動にも利用される予定です。



収穫した芋を前に記念撮影

家の光クッキング・フェスタ ～伝えたい島の味・ふるさとの味～

隠岐どうぜん地区本部は海士町中央公民館で10月22日、同地区本部管内では初めてとなる「家の光クッキング・フェスタ」を開催しました。

「島外から来ている高校生に、女性部と一緒に調理して島のおいしい味をおぼえて帰って欲しい」という扇谷光恵女性部長の願いにより、隠岐島前高校の寮生にも参加してもらいました。

料理研究家の枝元なほみ先生の指導により、前日から準備した地元食材をたっぷり使った先生考案のレシピ4品と、寮生考案のレシピ1品を作りました。また、米消費拡大運動「ニコニコおむすび大作戦」の一環として「隠岐牛むすび・乾燥ワカメのふりかけおにぎり」の2種類を作り、とても美味しいとの声がありました。

そのほか、枝元先生による「種子法廃止 タネがあぶない ～日本の食と農を守ろう」と題した講演や、家の光の読書会も行い、台風接近で悪天候の中でしたが、笑顔で元気になった一日でした。



女子大・シニア講座が 米検査見学

石見銀山地区本部のJA女子大学とシニア講座菜根館(さいこんかん)の受講生30人が、10月12日に地域の米作りについて学びました。

一同はJAの米倉庫(大田市久手町刺鹿)で、当日出荷された米の検査に立ち会い、ライスセンターを見学。案内役の農産課吉川崇課長から説明を聞いた後、検査員が無作為に米を抜き取り、米の状態を目視で確認し、等級をつける作業を見学しました。見学後は地区本部に帰り、JAしまね石見銀山女性部フレッシュミズ部会「つぼみくらぶ」が準備した、「つや姫」のおむすび、豚汁で昼食をとりました。

JA女子大学とシニア講座菜根館では、JAの基幹的作物である米について学ば講座を毎年のカリキュラムに入れていきます。普段一般公開していない米検査の様子やJAの米倉庫内を見学することが、地元産米のファン作りにも一役買っています。



検査の様子を見る参加者

島根きのご祭り初開催

島根きのご生産振興会は10月15日、出雲市のラピタ本店で、「島根きのご祭り」を開きました。同会から(有)奥出雲椎茸、田中しめじ工場、JAしまね出雲しいたけ部会が出店し、菌床生しいたけや舞茸、しめじなどを販売。県産の各種きのごを使用したきのご汁の販売や、きのごの展示なども行われました。

同会は県産きのごの増産、品質向上などを目的に平成25年に発足。県内の生産者15団体で構成されています。一堂に会し消費者へPRするイベントとして、きのご祭りを今回初めて企画しました。県林業課統括林業普及員の杉原雅彦さん(同会事務局)は「振興会があることを皆さんに知っていただき、県産きのごをPRしていきたい。第1回が開催できたので、今後も継続していきたい」と話しました。

当日は試食販売も行われ、しいたけや舞茸が焼ける香ばしい匂いに多くの人が集まりました。また、しいたけマスコットキャラクターの「サンマッシュくん」も登場し会場を盛り上げました。



各団体が試食販売でPR

西いわみ

西いわみメロン部会 「アールス初出荷」

西いわみ地区本部では10月9日、秋作のメロン「アールス」の出荷が始まりました。

特産のアムスメロンや春作トマトの後作として栽培しており、7月上旬から中旬にかけて種をまき、7月下旬から8月中旬に定植したものが収穫期を迎えました。

同地区本部の営農経済部担当者は、「定植期からの天候に恵まれ、玉太りやネット張りは上々の出来となった」と話しました。

当日は益田市飯田町のJA多品目選果施設の12戸の農家が950箱（一箱8キロ）7.6トンのアールスメロンを持ち込みました。

出荷は11月上旬までの約1ヶ月、主に大阪市場へ出荷します。JAでは今年度の計画を出荷量132トン、販売金額を6,200万円としています。



島根おおち

「ふれあい農園」芋掘り交流会

島根おおち青年連盟、女性部、島根おおち地区本部の3者が協力し、10月10日、邑南町中野地区の「ふれあい農園」で保育園児を対象に芋掘り交流会を開催しました。管内10保育所から園児112人が参加し、青年連盟が園児らと共に6月に植えたサツマイモを収穫し、女性部が昼食会を開きました。

今年は、夏場の天候が良かったことから生育が良く、サツマイモが大きく育ち、園児らは、盟友の手を借りながら力いっぱい掘りました。昼食会では女性部員が、収穫したサツマイモを使って、サラダや団子汁などを作りました。また今回は同地区本部で生産している石見高原ハーブ米の新米を用意し、ラップに包んだご飯を音楽に合わせておにぎりにしました。

青年連盟の玉川幸司委員長は、「芋ほり交流会は今年で13年目を迎えました。今後も青年連盟、女性部、JAが協力し、子どもたちが土に触れ、野菜について知る機会を提供することで、地元の作物を知り、農業の良さを伝えていく活動を進めていきたい」と話しました。



昼食会でメニューについて説明する女性部員

本店

しまね子育てフェス inいわみ開催

JAしまねは10月28日、浜田市金城町のふれあいジム・かなぎで「しまね子育てフェスinいわみ」を開きました。JAの利用者だけではなく、幅広く地域の皆さまの子育てを支援することを目的に開催。今年2月の松江市くにびきメッセでの開催につづいて2回目となります。台風が近づく中、雨模様での開催でしたが、約8,000人の親子連れに会場いただきました。

メインステージでは、アンパンマンや仮面ライダー、プリキュアのステージショー。イベント会場では、輪投げやシューティングビンゴなどの縁日コーナー、ミニ新幹線やトイレールなどのアトラクションを行い、会場は子どもたちの歓声でとても賑わいました。

JAでは今後もこのようなイベントの開催などを通じて、出産・育児の支援や地域貢献の取り組みを行ってまいります。



縁日コーナーで遊ぶ子どもたち

いわみ中央

地元の食材で秋を満喫

JAしまねいわみ中央女性部弥栄（徳田マスエ部長）は10月11日、浜田市弥栄町長安本郷にある林友館で1日農家レストランを開きました。

バイク方式のランチに、地元の住民はもとより、多方面からも来場されて会場はいっぱいになり、約100人が秋を満喫しました。

徳田部長は「本日の農家レストランは、地元の食材がほとんどで、収穫した野菜やお米そして、山菜もすべて女性部が育てたものです。田舎料理をどうぞゆっくり召し上がってください」と挨拶しました。

秋の食材をふんだんに使い、黒米おはぎやごみ酢味噌和え、そうめん瓜やさつま芋の天ぷら、手作りこんにやくの田楽など珍しいメニューが並びました。来場者は「毎年農家レストランを開いてほしい。田舎料理が食べられて嬉しい」と話し、大好評でした。



ぎゅ〜っ^と島根^大産直市²⁰¹⁷

12月9日(土) くにびきメッセ 多目的ホール 9:30~15:00

駐車場 旧県立プール跡地広場 (約340台)

生産者&JAが
島根農業の
魅力を伝えます♪

飲食スペース
をご用意
いたします!



島根県5高校による
“えんむすびショップ”

松江農林高校、出雲農林高校
邇摩高校、矢上高校
益田翔陽高校

着先200名様

アンケートに答えて
“たまご”をもらおう!
たまごの販売もあるよ!

杵つき餅
実演販売



地産地消の
あったか〜い
“とん汁”販売
1杯100円
11:00~
(開始予定)

島根県産
牛乳の
試飲コーナー

【協賛出店】
■島根ワイナリー ■JAアグリ島根

〈お問い合わせ先〉

JALしまね営農対策部担い手対策課 0853-25-8142

JAバンク
マスコットキャラクター



©ちよリス

〜担い手農家とTACがつくる島根の農業〜

同時
開催



アグリミーティング^{2017 in}くにびきメッセ

会場: くにびきメッセ 大展示場 9:30~15:00

主催: JALしまね JA全農

※記載の催しの内容および開催時間等は予告なく変更となる場合がございますので予めご了承ください。※記載のイラスト等は全てイメージです。

まちむらネットワーク MACHI MURA Network



サッカー カーニバル開催

J Aしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は10月14日、益田市乙吉町の益田市運動公園自由広場で第3回サッカーカーニバルを開催しました。

この大会は、管内の青少年が集い、スポーツを通じて相互の交流を深め、青少年の健全育成に寄与することを目的に開いています。

当日は、管内の小学生が参加し、U-10（4年生以下）、U-8（2年生以下）の2クラス11チーム147名が熱戦を繰り広げました。

U-10の部優勝はFCポア益田、U-8の部優勝はVISPO・FCが栄冠を手に入れました。

また、ドリブルタイムレースやキックターゲットなどのイベントの他、試合終了後にはJAの農産物が当たる抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

この他、JA女性部による肉うどんが参加選手に振る舞われました。



 U-8の部優勝 **VISPO.FC**



 U-10の部優勝 **FCポア益田**





農村歳時記 秋の収穫感謝祭開催

(有)赤雁の里(代表渡邊哲朗)とJAしまね西いわみ地区本部、関係機関は10月22日、益田市赤雁町の赤雁公民館で秋の収穫感謝祭を開きました。

年間を通じて行う農業体験の最後のイベントで、参加児童や保護者ら28名が参加しました。

当日は、JA女性部によるスコップ三味線、益田市民吹奏楽団の演奏の他、農村歳時記皆勤賞の表彰、〇×クイズ、じゃんけん大会、餅まきなどが行われました。

また、地元農産物や農産加工品、杵つき餅やおでんなどの販売もあり、にぎやかな1日となりました。



JA女子大学西いわみ校 4期生が卒業

JA女子大学西いわみ校は10月4日、益田市駅前町のJAしまね西いわみ地区本部で4期生の卒業式を行い、2年間のカリキュラムを終えた19名を見送りました。学長の田村清己本部長と副学長の和田悦子JA女性部長が祝辞を述べ、学生に卒業証書を手渡しました。

卒業生は「この2年間でたくさんの方の友人ができた。一人では体験できない授業や勉強ができてうれしかった」と感想を話しました。

JA女子大学西いわみ校は平成21年に開校し、1期2年のカリキュラムを組んで農業体験や講義、健康教室や料理講習などを通じて仲間づくりや新しい自分を発見する機会を提供する場としており、12月には5期生の入学式を予定しています。



卒業証書を受け取る卒業生



JAしまね西いわみ女性部 グラウンドゴルフ大会開催

JAしまね西いわみ女性部（部長和田悦子）は10月11日、鹿足郡津和野町の道の駅シルクウエイにちはらでグラウンドゴルフ大会を開催しました。

管内の部員同士の親睦と交流をはかろうと始めたもので今回で11回目になります。

当日は、益田市、津和野町、吉賀町から部員97名が参加し、プレーを楽しみました。大会賞品には西いわみ地区本部各部の部長賞など特別賞も設け、参加部員らに喜ばれました。

参加した藤井部会長は「今回は『次につなげよう〜フレミズの縁と絆〜』のテーマのもと、島根県を含む9県の中四国地区の部員とつながりができて、意義のあるフレミズマルシェとなった。来年は徳島県での開催を予定しており、継続してマルシェを行うことになったので、島根県から多くの販売品を出品できるよう検討していきたい」と感想を話しました。

翌日は島根県を拠点に活動するシンガーソングライターの白築純さんの講演の他、部員同士の交流を深めようと、勾玉作り体験が行われ、絆を深めました。



JA女性組織フレッシュユミズ交流集会で 「フレミズマルシェ」を開催

JAしまね西いわみ女性部フレッシュユミズ部会（部会長藤井泰余）は9月26日、松江市で行われた第12回中四国地区JAフレッシュユミズ交流集会に参加し、今年度初の試みとして「中四国フレッシュマルシェ」を開催しました。

し、売り込みの声掛け、陳列方法等の販売手法を学びました。

マルシェでは9県のフレッシュ部員が持ち寄った加工品や手芸品を販売

第5回組合員親睦 ゴルフコンペ開催

JAしまね西いわみ地区本部は10月7日、管内の組合員、利用者相互の親睦を深めようと第5回組合員親睦ゴルフコンペを開きました。

山口県萩市の萩・石見カントリー倶楽部を会場に行い、益田市、津和野町、吉賀町などから108名が参加し、親睦を深めました。

また、参加者には10社の企業から協賛いただいた各賞を数多く用意し、楽しんで頂きました。





J Aしまね西いわみぶどう部会 技術反省会開催

J Aしまね西いわみぶどう部会（部会長 福原博）は10月16日、西いわみ地区本部で平成29年産生食用ブドウの技術反省会を開きました。

同部会技術部が、次年度のブドウ栽培の取り組みに役立ててもらおうと開いたもので、来賓や部会員、関係者ら40名が出席した反省会では、平成29年産出荷販売実績報告や、来賓講師らによる講演がありました。

講演では、県農業技術センターや益田普及部、市場関係者が優良系統デラウェアの栽培技術、良い土づくりの為の方策、県産ブドウの評価等について話し、活発な意見交換を行いました。



吉賀町グラウンドゴルフ大会開催

J Aしまね西いわみ地区本部六日市支店（支店長橋本智恵美）、柿木支店（支店長芝田剛）は10月8日、吉賀町グラウンドゴルフ協会の皆様の御協力を頂き、吉賀町の蔵木グラウンドゴルフ場で第3回J Aしまね吉賀町グラウンドゴルフ大会を開催しました。

吉賀町の組合員や地域の方とのつながりを深めるために開催された大会には100名が参加。秋晴れのなか参加者はプレーを満喫されました。

熱戦の結果、吉賀町上高尻の藤井福昭さんが優勝されました。



参加者のみなさん



プレーを楽しみました

バケツ稲づくりで児童が脱穀体験

平成29年度バケツ稲づくりに取り組む児童が脱穀体験を行いました。

バケツ稲づくりは食農教育プランの一環としてJ Aが管内小学校へ呼びかけたもので、学校と連携し栽培指導などを行います。

10月6日、益田市吉田南小学校の5年生41名が穂からもみをとる脱穀をし、すり鉢を使ってもみすりを行いました。また、10月25日、益田市立益田小学校の3年生61名が脱穀を行いました。

吉田南小学校の児童らは、脱穀後、すり鉢にもみを入れ、ゆっくりすり上げ、息をふきかけてもみ殻を飛ばす作業を何度も繰り返しました。





J A女性部安田ブロック 生活研修を開催

J Aしまね西いわみ女性部安田ブロック（ブロック長岡崎いつ子）は10月4日、山口県岩国市のうまもん岩国で生活研修を行い、ぬか床作りを体験しました。

当日は17名の部員が参加し、楽しそうにぬか床を作っていました。出来たぬか床を各自持ち帰ることができ、「野菜をつけて食べるのがとても楽しみ」とみなさん話されました。



J A女性部津和野ブロック生活研修を開催



ダリア園の様子



工場見学の様子

J Aしまね西いわみ女性部津和野ブロック（ブロック長渡邊佐代子）は10月20日、生活研修を開催し、広島県世羅郡の世良高原農場へ秋のダリア祭りを、廿日市市ではもみじ饅頭で有名な「やまだ屋 早瀬庵 おおのファクトリー」で工場見学を行いました。

当日は40名の部員が参加し、世良高原では450品種のダリアを見ながら写真を撮っていました。

「やまだ屋 早瀬庵 おおのファクトリー」での工場見学では、社員の方からもみじ饅頭を作るポイントなどを話して頂きました。

移動中のバスの中ではレクリエーションが行われ、笑いの絶えない楽しい研修となりました。

平成28年度J Aバンク 優績店舗表彰

10月16日農林中央金庫松江営業所の堀井所長が来店され、平成28年度J Aバンク優績店舗に選ばれた、日原支店（第1位）、益田支店（第3位）に対し表彰が行われました。

J Aバンク優績店舗は、昨年度J Aしまね103店舗の中で個人貯金・個人貸出金・大口安定利用者増加率を基に選定されます。なお、上位10店舗中、西いわみ地区本部が4店舗を占めていました。今後もこの結果に満足することなく、取引の深耕に努め、個人貯金・個人貸出金の伸長を図ってまいります。



西いわみ地区本部田村本部長（左）、表彰を受けた益田支店宮藤支店長（中央左）、日原支店村上支店長（中央右）、農林中央金庫松江営業所堀井所長（右）



年金友の会中吉田支部・益田中央支部 グラウンドゴルフ大会開催

J Aしまね西いわみ地区本部年金友の会中吉田支部（支部長田ノ上武夫）・益田中央支部（支部長寺井友延）は、10月5日、グラウンドゴルフ大会を開催しました。



みごと優勝した高橋恭二さん

美都町のひだまりパークみとで開かれた大会には、益田中央支店・中吉田出張所管内の年金受給者48名が参加し、スポーツの秋を満喫しました。
プレー終了後には、成績発表があり、水分町の高橋恭二さんがみごと優勝されました。

津和野町内駅伝に参加



10月7日、津和野町体育協会等の主催で開催された津和野町駅伝競走大会にJ Aしまね西いわみ地区本部有志職員が参加しました。

当日はアスリートコース（全5区間16・8キロ）の一般男子の部門に出場。木部公民館前をスタートし、津和野町役場津和野庁舎前のゴールを目指して職員5人が力走しました。

結果は14チーム中7位という結果でしたが、走り終えた職員は「来年はさらに参加者を増やして挑戦したい」と話しました。

農事組合法人城九郎が 美味しまね認証を受ける

農事組合法人城九郎（代表理事組合長豊田真）は10月2日、益田市中吉田町のJ Aしまね西いわみ地区本部営農センターで「美味しまね認証書」を島根県西部農林振興センター益田事務所の塩治隆彦所長より授与されました。

美味しまね認証は、県内で生産される農林水産物で、「高い安全性」と「優れた品質」を兼ね備えた産品を生産する生産者・生産方法を第三者機関の判断をもとに知事が認証する制度で、平成21年に創設した島根県独自の制度です。

この度同法人が生産する米が美味しまね認証を受けたことに豊田真代表理事組合長は「元々環境維持が目的で立ち上げた法人だったが、今回の認証により消費者に対しより安全・安心なものを届けることができ嬉し」と話しました。



認証を受ける豊田真代表理事組合長（左）



JA女性部下本郷ブロックがミニデイスーツを催す

JA女性部下本郷ブロック（ブロック長小方美津子）は10月7日、益田市下本郷の下本郷ふれあい会館でミニデイスーツを開きました。

地域貢献活動の一環として、地域組合員や利用者に健康指導やふれあいの場を提供しています。

当日は24名が参加し、牛乳パックで小物入れとコースターを作りました。その他、お昼は参加者全員で牛乳パックを使った押し寿司ならぬ押しおにぎり作りにも挑戦。牛乳パックを輪切りにしてお皿の上へのせ、その上からご飯、具材、ご飯の順に手で押さえながら入れていき、上に錦糸卵やミニトマト、海苔を飾りました。

参加者からは「自分で作ったおにぎりはおいしい」「かわいい小物入れができた。孫にプレゼントする」など楽しそうに話しておられました。



押しおにぎり
おいしそう!

かわいい小物入れが
できました

益田東支店 鳥獣害対策の手法を学ぶため美郷町を視察



実験圃場を視察しました



安田さんから説明をうけました

JAしまね西いわみ益田東支店（支店長青木稔）は10月18日、農政会議活動の一環として鳥獣害対策の手法を学ぶため、地域農家住民を主体とした鳥獣被害対策優良活動で農林水産大臣賞を受賞した美郷町へ、視察研修に行きました。

捕獲した猪の肉をブランド化（おち山クジラ）し、町内外へ広く出荷。女性グループが缶詰等の加工品や皮革製品を開発・販売し、地元の産業振興に結び付けた美郷町では行政等の視察も数多く受け入れています。

当日は益田東管内の農政会議メンバー25名が参加し、美郷町役場農業振興課の安田亮さんより主に猪の被害防止対策について説明を受けました。安田さんは「猪が里に下りてくるのはなぜなのか。地域ぐるみで対策を考えることが一番重要」と話されました。

JA女性部員と職員 収穫の秋を満喫

JAしまね西いわみ女性部（部長和田悦子）と、西いわみ地区本部女性職員は、10月20日と26日に、益田市三宅町のふれあい農園で、芋ほりを行いました。

参加した女子職員は「芋ほりなんて小学生以来!」と、女性部員に聞きながらサツマイモを掘り、収穫の秋を満喫していました。

他にも、「芋の茎をキンピラにするととてもおいしいよ」と女性部員の方に教わり、芋の茎も収穫、来年は一緒に芋の苗を植えようと話していました。





農事組合法人おくがの村 設立30周年記念大会を開催

農事組合法人おくがの村（代表系賀盛人）は10月28日、鹿足郡津和野町の法人事務所で、設立30周年記念大会を開催しました。

当日は、地域住民をはじめ、行政、JA関係者等約200人が参加。DVD上映やお祝いの言葉を贈るり



竹下正幸会長



糸賀盛人代表

レトリック、パネルディスカッションなど、盛大な記念大会となりました。農事組合法人おくがの村は、昭和62年9月に全国初の集落営農組織による農事組合法人として設立、様々な困難の中この地域をどう変えるか、どうしたいかを思い描きながら



30年という歴史とともに、美しい中山間地域を守り、育ててきました。糸賀盛人代表はあいさつで「いつでも土と共に生き、この美しい村を守り、未来へ引き継いでいこう」と話されました。また、鳥根県農業協同組合中央会竹下正幸会長からは、永年の地域農業振興と集落組織維持に尽力された功績を称えられ、感謝状が贈られました。



平成29年産米集荷速報

平成29年10月18日現在

(単位:30kg /袋)

地区名	益田市			津和野町		吉賀町		JA計	
	益田	美都	匹見	津和野	日原	柿木	六日市		
出荷予約数量	33,096	5,831	9,419	32,146	3,347	4,359	14,812	103,010	
集荷数量	28,928	4,121	8,679	24,564	1,915	1,781	8,751	78,739	
CE荷受重量集荷数量内数	0	0	0	0	0	0	0	0	
加工米						10	1,195	1,205	
集荷数量(合計)	28,928	4,121	8,679	24,564	1,915	1,791	9,946	79,944	
集荷率	29年産	87.4%	70.7%	92.1%	76.4%	57.2%	41.1%	67.1%	77.6%
	28年産	92.0%	85.9%	95.3%	92.5%	92.8%	85.9%	85.5%	90.9%
1等米比率 (全品種)	29年産	65.4%	79.2%	82.4%	89.5%	59.0%	60.0%	85.8%	77.5%
	28年産	70.9%	82.4%	76.5%	85.8%	87.3%	87.9%	83.2%	79.4%
コシヒカリ	29年産	56.0%	69.6%	86.9%	89.6%	44.5%	67.4%	89.2%	72.5%
	28年産	66.1%	74.9%	82.5%	85.8%	91.1%	86.8%	88.8%	77.9%
ヘルシー米	29年産	79.4%	84.6%	89.6%	92.5%	100.0%	0.0%	73.5%	88.9%
	28年産	65.4%	88.9%	84.3%	86.1%	100.0%	0.0%	92.7%	85.4%
ハナエチゼン	29年産	81.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	86.7%
	28年産	97.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.9%
きぬむすめ	29年産	91.6%	66.9%	93.2%	89.1%	76.4%	37.6%	92.3%	88.7%
	28年産	87.6%	69.3%	79.2%	92.7%	78.5%	75.0%	88.7%	86.6%
つや姫	29年産	64.2%	89.6%	100.0%	92.1%	47.2%	51.2%	92.6%	78.0%
	28年産	71.2%	90.8%	73.8%	81.6%	89.3%	91.4%	100.0%	80.1%
カントリー未計上	加工用米1,561袋								

【農産物検査員コメント】

コシヒカリについては、夏場の高温により心白粒の発生が見られる。

収穫に向けて早めに(8月上旬)水を落としているところが、適期の刈取り時期であっても乳白粒等の発生が見られた。

刈取適期が、平年に比べ5日程度早い為刈遅れが発生しその他未熟粒で等級が落ちた。

晩生の品種(きぬむすめ、飼料用米)については、9月からの天候不順により刈取が遅れている。

経済課より



シロアリ無料調査実施中!!

お客様の大切な財産を
お守りいたします



こんなお宅は要注意

- 建物の周囲、庭先に古材がある家
- 庭先でシロアリを見た家
- 雨漏り・トイが傷んでいる家
- 羽アリが何匹か舞い込んだ家
- 近くに山がある家

私たちが伺います

=(株)コダマサイエンス社員=



中川 徳行



三浦 定

お問い合わせ先

JAしまね 西いわみ地区本部 経済課 ☎0856-23-0914

取扱業者

(株)コダマサイエンス 益田市三宅町3-37 益田営業所 ☎0856-22-5390



人事異動

退職

【臨時職員】（平成29年9月8日付）

西山和美

企画管理部 総務課（依願退職）

【正職員】（平成29年9月30日付）

村上善子

西益田支店 渉外課（依願退職）

【嘱託職員】（平成29年9月30日付）

内田悦生

企画管理部ふれあい福祉センター（期間満了）



12月の無料年金相談会～お気軽にご相談～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

☆西いわみ地区本部金融部年金相談センター☆
 (0856-22-8680) は、
 平日 (8:30～17:00) いつでも
 ご相談いただけます。

12月の年金相談会

7日(木)	匹見支店	午後2時～午後6時	J A年金相談員
14日(木)	中西支店	午後2時～午後6時	J A年金相談員

※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

にしいわみひろば
 読者のゆかり

お題「空」

1月のお題は「寒」です
 応募お待ちしております



- | | |
|---|--|
| 秋の空 君によく似た 雲ひとつ
大空を はばたく鳥に なりたいな
秋の空 綿菓子みたいな ふんわか雲
澄んだ空 風さわやかな 里の秋
季節感 秋霜烈日 空色に
空見上げ 電線ツバメが ドレミファソ
稲刈りを 明日に控えて 空を見る
きのこ傘 もくもく広い 空覆う
澄みわたる 空一本の 飛行機雲
「ありがとう」 聞こえぬふりし 空寝する
空耳を 気にする人の しかめ顔
秋空に 我ものの顔の 鱗雲
青空を 見上げて伸ばした 腰たたたく
夕涼み お日様しずみ 赤い空
澄んだ空 ミサイル発射 暗いかげ
広い空 雲の流れの 荒れもよう
あ、きれいな 空いっぱい 鱗雲
一服も 空を見上げて 腰休め | (益田市) 豊田 昭彦さん
(益田市) 稲岡三紀子さん
(益田市) 渡辺美寿子さん
(益田市) 村上登美子さん
(益田市) 加藤 富之さん
(益田市) 和崎富久代さん
(益田市) 梅津 穂さん
(益田市) 高橋しげこさん
(益田市) 柳井 文江さん
(益田市) 長島登代子さん
(益田市) 大羽 克巴さん
(津和野町) 大羽ミヤ子さん
(津和野町) 大庭アサ子さん
(津和野町) 廣田美代子さん
(津和野町) 板蔭 静代さん
(津和野町) 住吉 良子さん
(津和野町) 世良 徳祐さん
(津和野町) 石川アキヨさん |
|---|--|

川柳「空」の投稿数 津和野町17通、吉賀町1通、益田市18通

川柳応募方法

●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。 ●締切 平成29年12月18日（当日消印有効）
 ●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画管理部 ふれあい課



JAの普通傷害共済

突然のアクシデントに対応～あなたの愛する人やあなたの暮らしを頼もしくバックアップ～

1万人集団契約で掛金割安のチャンス!!

○手続きは簡単！診査は不要です！

ご加入の際は、医師の診査は必要ありません。所定の申込書に簡単な告知をしていただくだけでOKです。

○治療中でも共済金をお受け取り
になれます!!

災害でケガをされ、入院または通院された場合、そのケガの部位と症状が確認できれば共済金をお支払いしますのでスピーディにお受け取りできます。*一定の条件があります。

共済種類A型・職業区分1級・10,000人以上の集団加入の場合

共済期間1年、1被共済者につき

掛金例

コース	死亡共済金額	部位・症状別治療共済金額	掛金
0歳～69歳 おすすめコース	600万円	5,000円	13,740円
70歳～80歳 おすすめコース	500万円	2,000円	7,940円
81歳～99歳 おすすめコース <small>(職業にかかわらず)</small>	50万円	2,000円	8,850円

*共済種類はA型・B型がございます。また、職業・職種区分についての詳細はJAまでお問い合わせください。

(平成29年4月現在)

*団体加入・個人加入の場合は掛金が異なります。

お支払例

上記加入例600万円コースの場合・・・支払倍率表によりお支払します。

●災害を受けた日から200日以内に入院したとき、
または入院しなかった場合で、通院した日数が5日以上するとき

部位・症状別治療共済金額 × 支払倍率表の倍率

バイクで転倒して頭を打撲し、5日以上通院したとき… **25,000円**
『頭部』『打撲』⇒部位・症状別治療共済金額の「5倍」

階段から落ちて腕を骨折、5日以上通院したとき… **175,000円**
『上肢』『骨折』⇒部位・症状別治療共済金額の「35倍」

交通事故で足を骨折し、入院したとき… **325,000円**
『下肢』『骨折』⇒部位・症状別治療共済金額の「65倍」

●災害を受けた日から200日以内に入院しなかった場合で、
通院した日数が5日未満で治療が完了したとき

部位・症状別治療共済金額 × 2倍



0歳～99歳までご家族そろって加入しましょう!

JAしまね
各支店へお問い合わせください。

- *この共済の共済期間は1年間です。ご契約者からこの共済を継続しない旨の意思表示がない限り、同一の契約内容で自動的に継続されます。
- *ご契約いただく共済金額の設定などについては、次の点にご注意ください。
- ①部位・症状別治療共済金額は、死亡共済金額との関係で上限が設定されます。②ご契約金額は、被共済者の年齢に応じ、加入限度が設定されることがあります。
- また、実際にご契約いただく場合の共済金額については、申込書でご確認ください。
- *この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。またご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「傷害共済約款」を必ずご覧ください。

17320320082



益田税務署からのお知らせ

申告書や申請書等には 【マイナンバー】 の記載が必要です！

申告書などには
マイナンバーの記載
+
本人確認書類の
提示又は写しの添付
が必要です

本人確認書類

◆ マイナンバーカード（個人番号カード）をお持ちの方は

- マイナンバーカードだけで、本人確認（番号確認と身元確認）が可能です。
- ご自宅等から e-Tax で送信すれば、本人確認書類の提示又は写しの提出が不要です。

◆ マイナンバーカードをお持ちでない方は

番号確認書類

《ご本人のマイナンバーを確認できる書類》

- 通知カード
- 住民票の写し又は住民票記載事項証明書（マイナンバーの記載があるものに限ります。）などのうちいずれか1つ



身元確認書類

《記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類》

- 運転免許証
- 公的医療保険の被保険者証
- パスポート
- 身体障害者手帳
- 在留カード
- などのうちいずれか1つ

国税に関するマイナンバー制度の最新情報

国税庁ホームページのトップページ上段の

社会保障・税番号制度<マイナンバー>
申告書等にマイナンバーの記載が必須になります。

をクリック



※ 上記コードのURLは今後変更する場合があります。

マイナンバーカードで e-Tax

詳しくは、e-Tax
ホームページをご
覧ください。

イータックス

※ 上記コードのURLは今後変更
する場合があります。

e-Tax のメリット

- 1 税務署に向くことなく、インターネットを利用して申告や納税などの各種手続をすることができます。
- 2 確定申告期間中は、24時間ご利用できます。（メンテナンス時間を除きます。）
- 3 一部の添付書類（源泉徴収票など）は内容を入力して送信することにより、提示又は提出を省略することができます。
- 4 マイナンバーに係る本人確認書類の提示又は写しの提出が不要です。（マイナンバーの記載は必要です。）
- 5 書面で提出した場合より、還付金を早く受け取れます。
- 6 納税証明書の交付請求手数料が、書面請求の場合より安価です。（e-Tax：370円 書面：400円）

e-Tax のご利用方法

- 1 マイナンバーカードを取得
 - ① 郵便やインターネットなどで申請
 - ② 市区町村で受取
- 2 ICカードリーダーライター又はスマートフォンを用意
- 3 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」へ
 - ① 画面の案内に従って利用者識別番号を取得
 - ② マイナンバーカードの電子証明書をe-Taxに登録
 - ③ 申告書等データを作成、送信

詳しい情報は国税庁ホームページへ で www.nta.go.jp

問い合わせ先／益田税務署 TEL (0856) 22-0444

ハクサイ の 上手な貯蔵方法

板木技術士事務所 ● 板木利隆

大きく育ち、固く結球したハクサイは、一斉に収穫するだけでなく、ある程度畑に残して順次収穫し利用したいものです。

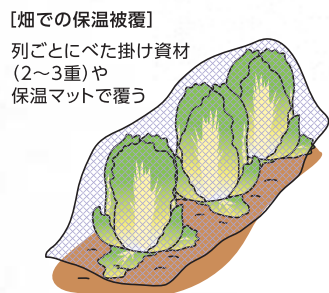
この場合、畑でそのままにしておくと、厳しい霜や寒風のために、球の頂部の柔らかい葉や外葉がカサカサになり、やがてそこから腐って食べられなくなります。防寒対策を施して長い間利用したいものです。

一番簡単な防寒対策は、霜が降り始めたころ、先に収穫した株の少ししおれかけた外葉を球の頭上に4~5枚覆いかぶせておくことです。少ししおれかけていた方が球になじみやすく風で吹き飛ばされにくいので好都合です。

畑にある程度長く置く場合は、なるべく多くの外葉で球を包むようにして、ポリテープや細縄などで縛っておきます。元気が育つと葉折れがひどく、作業しにくいので、多少霜に遭い葉が柔らかさを増してから作業するようにしましょう。

相当広い面積の畑で多数の株を貯蔵するには、べた掛け資材（長繊維不織布、割繊維不織布）を広げて、頭上に2~3枚重ね掛けするのが効果的です。プラスチックフィルム、特にポリフィルムは、じか掛けにするとその直下は一時的に外気温よりも低くなってしまいますので、使用しないでください。

大面積の栽培での本格的な貯蔵法として困り貯蔵法

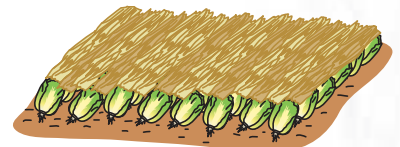


があります。これは、ハクサイを畑から根ごと引き抜いて、別の場所に根を下方に向けて密に並べ置き、上に稲わらなどの保温材で覆って寒さから守る方法です。この場合、寒害を受ける前に、通常よりもやや若取りすることが大切です。そして寒害を受ける直前に貯蔵に取り掛かるよう配意します。この方法を上手にすれば、約2カ月も長期貯蔵することが可能です。

いずれの防寒、貯蔵方法でも、貯蔵する前にアブラムシやアオムシなどが寄生していると増殖してしまう恐れがあるので、事前に薬剤防除をすることが肝要です。

収穫後に短期間品質を保持するには、新聞紙にくるんで涼しい場所に立てて置くのが簡単です。これで約1週間鮮度を保てます。

【畑でまとめて貯蔵(約2カ月)】
根を付けたまま株を引き抜き、まとめて稲わらで覆う



【家庭での簡易貯蔵(約1週間)】
新聞紙にくるんで冷暗所に。頭を上に向けて

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

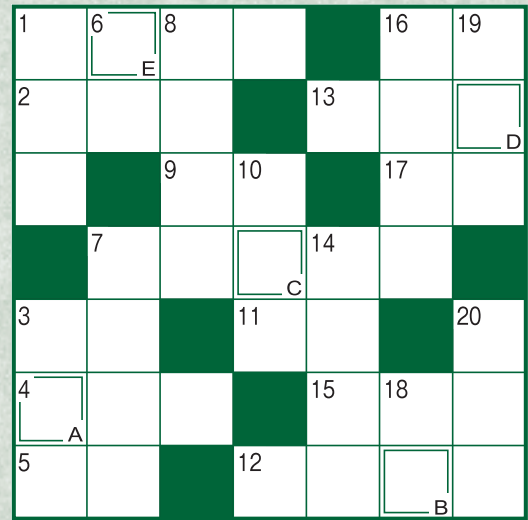
タテのカギ

- ① 2人組はコンビ、3人組は—
- ③ 親同士がいとこです
- ⑥ —に交われれば赤くなる
- ⑦ 「おはよう」とか「さようなら」とか
- ⑧ コロンブスはインドを目指して—を続けました
- ⑩ カカオ豆から作る飲み物
- ⑫ サンタクロースが乗ったそりを引きます
- ⑬ ブーケともいいいます
- ⑮ 太陽が沈むとやって来ます
- ⑯ 進化の反対語
- ⑰ 人の言葉をまねるのがうまい鳥。—返しに答える

ヨコのカギ

- ① 大みそかには—そばを食べる人も多い
- ② 英語ではドラゴン。想像上の生き物です
- ③ 物を燃やすと残るもの
- ④ 鶏の頭の赤い冠
- ⑤ 何度も練習して、ようやく—をつかんだ
- ⑦ 「山!」「川!」
- ⑨ 現在よりも前です
- ⑪ 庭に掘りたがる犬もいます
- ⑫ デジタルカメラには装填(そうてん)しません
- ⑬ 少年剣士たちが振る物
- ⑮ 月曜と水曜の間
- ⑰ お子様ランチに立てられていることも
- ⑱ 狩りにも使われる鳥

二重マスの文字を A ~ E の順に並べて
できる言葉は何でしょうか?



答え
A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成29年12月5日(火)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「コハルビヨリ」



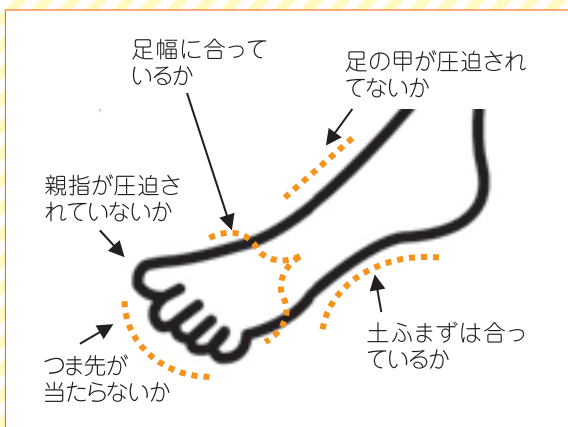
お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步 JA島根厚生連

正しい靴選び

「足は第二の心臓」と言われていることをご存じですか? 足は歩行や運動をすることで筋肉を動かし、血液循環を促進させて足の裏まできた血液を全身に送り返すポンプのような役割をして心臓の動きを助けています。元気な体をつくるうえでも、歩行や足の運動は大切なポイントです。しかし、足に合わない靴は、足・膝・腰の痛みや、転倒の原因になることもあるため、正しい靴選びは重要です。つま先の細いハイヒールを長期間歩いて外反母趾になったり、タコやウオノメ、扁平足、巻き爪になったりすることもありますから、足に合った靴を履くことで足の変形を予防することができます。

一般的に靴選びで大切な事は、つま先に余裕があり、足の甲はひもやファスナーなどで調節できる事、踵は包み込むようにしっかりと固定できる事、靴底の踵部分は幅広で安定している事などです。また、適切な中敷を選ぶことにより外反母趾やO脚による膝の痛みを和らげることが出来る場合もあります。



理事会情報 (9月28日開催)

協議事項

- ① 生産資材価格低減プロジェクトの取りまとめについて
- ② JAしまね内部統制整備方針設定について
- ③ 場所別部門別損益管理の統一基準について
- ④ 平成30年度事業計画の基本方針とスケジュールについて
- ⑤ 自己改革・組合員対策に関する今後への取り組みについて
- ⑥ 地区本部運営委員会運営規程の一部改正について
- ⑦ 文書取扱規程の一部改正について
- ⑧ 諸規程類管理規程の一部改正について
- ⑨ 「合同会社アグリサポートおーなん」への外部出資について

報告事項

- ① JAしまね農業振興支援事業のPR方法について
- ② 県への農業政策および予算に関する要望書の提出について
- ③ 平成29年度山陰ブロックTACパワーアップ大会発表大会の結果について
- ④ 西条柿共同利用施設の広域利用および地区本部間連携について

その他

- ⑤ 米穀園芸情勢について
- ⑥ 第11回全国和牛能力共進会宮城大会の結果について
- ⑦ 畜産情勢について
- ⑧ 平成29年度第3四半期の余剰金運用計画額および運用方針について
- ⑨ 組合と理事との取引(契約)の報告について
- ⑩ 不祥事件にかかる島根県からの注意喚起文書の受領について
- ⑪ 平成29年18号台風にかかる報告について
- ⑫ 平成29年8月末月次決算報告について
- ⑬ 特別損失にかかる会計処理について
- ⑭ 小水力発電所改修工事業者の決定について
- ⑮ 総代選挙の実施結果について
- ⑯ 平成29年度下期主な会議日程の一部変更について
- ⑰ 平成29年度「地域貢献・地域活性化団体活動表彰」受賞団体の決定について
- ⑱ 新退職金制度の設計方針について
- ① 農政をめぐる情勢について
- ② 収入保険制度の概要について(現状報告)
- ③ 青年理事による活動報告等

組合員アンケート調査へのご協力のお願い

JAしまねでは、より地域と一体となったJAであることを目指して、無作為に選ばせていただいた組合員の皆さま6,000名を対象にアンケート調査を実施させていただきましたことといたしました。

本年12月中旬に、対象者の皆さまに郵送にてアンケート調査票を送付させていただきますので、お忙しいこととは存じますが、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

JAしまねびより10月号の記載内容に関するお詫びと訂正

P7. 第11回 全国和牛能力共進会 結果報告 第7区 (総合評価群:肉牛群) 出品No.7 JA仁多肥育センター (誤) 雲南市 → (正) 奥出雲町
 謹んでお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

知って納得JA
 ー協同組合の力ー

Q JAはなぜ銀行や保険会社のような事業をしているの?

A 信用・共済事業を通じて、組合員の営農とくらしを守り、より豊かにするためです。

協同組合のルーツの一つは信用・共済事業です。特に農村では、地域の人々がお金や米を出し合って積み立て、そこから困った人がお金を借りたり、災害に遭われた人にお金や米を援助したりするなどの仕組みが、草の根的につくられてきました。こうした地域の「相互扶助」の仕組みが、信用・共済事業として発展してきました。

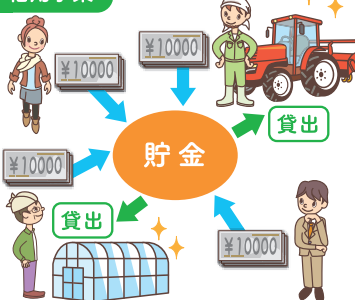
JAの信用事業は、組合員間で資金を積み立てて融通し合うので「相互金融」と呼ばれ、組合員の営農やくらしに役立てられています。

JAの共済事業は、互いを信じ救い合う「相互扶助」の精神の下で行う非営利事業です。組合員のくらしを守るため、「ひと」「いえ」「くるま」などの保障を充実させています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

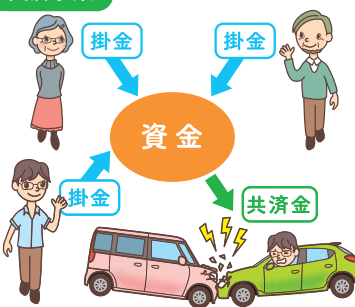
「協同の精神」に基づいて行われる JAの信用・共済事業

信用事業



JAとJA信連、農林中央金庫(農林中金)は「JAバンク」を構成して、金融機関として機能しています。JAバンクはグループ全体のネットワークと総合力で、農林水産業や国民経済の発展に貢献しています。

共済事業



JAとJA共済連が共同で共済契約を引き受け「JA共済」として保障を提供しています。JAはJA共済の窓口として各種手続きを行い、JA共済連は各種の企画、仕組み開発、資金運用、支払い共済金にかかる準備金の積み立てなどを行っています。

耕そう、大地と地域のまらい。

JAしまね統合2周年企画旅行

出雲縁結び空港より



直行チャーター便で行く!!



「はての浜」久米島と宮古諸島5島巡り

現地では
JAしまね統合2周年企画として
JA特産品が当たる
抽選会を実施!!

(宮古島・伊良部島・下地島・池間島・来間島)

3日間

2泊とも2名様より1部屋をご用意

旅行実施日 平成30年

2月21日(水)~23日(金)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起点、税込)

149,800円

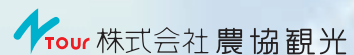
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

西部地区(島根おち・いわみ中央・西いわみ)より便利な送迎プラン

島根県西部地区より出雲縁結び空港まで往復8,000円(税込)にて送迎バスをご利用いただけます。(配車場所についてはお問い合わせ下さい)
※送迎バスプラン希望者が20名様を上回る場合、運行されず、19名様以下の場合は、お客様自身で出雲縁結び空港迄お越し下さい。

掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!



- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| JAしまねくにびき旅行センター ☎0852-55-3041 | JAしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305 | JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008 |
| JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699 | JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625 | JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820 |
| JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118 | JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501 | JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587 |



JAしまね

定期貯金

あったか キャンペーン 2017

キャンペーン期間 2017.11.1(水)-12.29(金)

期間中、定期貯金(20万円以上)を
新規でご契約いただいた方に
最大3つの特典プレゼント!!

特典1 もれなくちよリスグッズプレゼント!!



さらに
給与振込・年金受取・年金予約・
各種ローン・JAカード・ネットバンクの
いずれかのお取引がある方、または、
期間中に新たにいずれかのお取引をご契約いただいた方
特典2・3をプレゼント!!

特典2 ちよリスグッズプレゼント!!



特典3 ご契約いただいた方の中から
抽選でプレゼント!!

美味しく食べよう島根のお米

ご契約額20万円につき抽選権を1口お付けします。

10名様 高級炊飯器&
島根米のセット



600名様 島根県産
ごはんのお供セット



懸賞要領

対象商品/定期貯金(期間1年以上)、結いの恵み
※上乗せ金利の適用があるものを除きます。
※窓口でお預け入れいただいたものに限りです。

応募対象者/・期間中、定期貯金を新規で20万円以上契約または、20万円以上増額された個人の方。
・期間中、結いの恵みを新規で契約された個人の方。

賞品内容/10名様に高級炊飯器&島根米のセットをプレゼント
600名様に島根県産ごはんのお供セットをプレゼント

応募方法/対象商品ご契約額20万円につき抽選権を1口お付け
します。

当選発表/平成30年1月下旬頃、ご当選された方に対し当選通
知をお送りします。

抽選権の失効/抽選日の前日までに懸賞対象商品が中途解約されて
いた場合、懸賞抽選権は無効となります。

個人情報の取扱/取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用しま
す。

JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問合わせください。

エリンギパスタ



エリンギの輪切りとみじん切り二つの食感が楽しめるパスタです。キュッキュとエリンギの音がするまで炒めましょう。

●材料 (2人分)

パスタ	160g	にんにく	1かけ
エリンギ	1パック	オリーブ油	大さじ2
ミニトマト	1/2パック	塩	少々
トマト	1個	こしょう	少々
合いびき肉	80g	大葉	2枚

●作り方

- ①エリンギは1cmの輪切りにし、上の部分は粗いみじん切りにする。
- ②ミニトマトは横に半分切る。
- ③トマトは皮付きのまま、ざく切りする。
- ④にんにくはみじん切りにする。
- ⑤塩を入れた湯でスパゲッティを茹ではじめる。
- ⑥フライパンにオリーブ油、にんにくを入れ火にかける。
- ⑦合いびき肉を入れ炒める。
- ⑧エリンギは、塩を少し入れ炒める。
- ⑨ミニトマトを入れ炒め、少ししたらトマトを入れ炒める。
- ⑩塩、こしょうをしてパスタを絡める。
- ⑪ぎざんだ大葉をのせる。

ほうれん草のミルクポタージュ



緑色の体も心も温まるスープです。ほうれん草嫌いなお子様でも食べられるかもしれません。鉄分たっぷりなほうれん草の青臭さもなくなり、したくなる優しい味のスープです。

●材料 (4人分)

ほうれん草	1束	牛乳	3カップ
長ねぎ(斜め薄切り)	1/2本分	生クリーム	1/2カップ
オリーブ油	大さじ1	塩、こしょう	各少々
米粉	大さじ3	生クリーム(仕上げ用)	適宜
固形スープの素	1個		

●作り方

- ①ほうれん草はゆでて3cmの長さに切る。
- ②鍋にオリーブ油を熱し、長ねぎを炒める。しんなりしたらほうれん草と米粉を入れ炒める。
- ③水1カップと牛乳、固形スープの素を加え、鍋底をへらでときどきかき混ぜながら、弱火で煮る。
- ④火を止め、バーミックス又はミキサーでなめらかにつぶし混ぜる。
- ⑤鍋に戻し生クリームを加えて温め、塩、こしょうで味を調える。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、隠岐郡西ノ島町にある焼火神社(たぐひじんじや)です。一条天皇の時代(1000年頃)の創建と伝えられています。本殿は山腹の岩窟に半ば埋もれるように建てられており、本殿・通殿・拝殿からなる社殿は国の重要文化財に指定されています。また、神社一帯は県の天然記念物に指定されています。

編集後記

今月のトピックスに掲載した子育てフェスinいわみには、当部署からも出店しました。JAグループの子ども雑誌『ちゃぐりん』に掲載されている工作を子どもたちにとって遊んでもらいましたが、準備した工作セットが昼過ぎにはなくなってしまうほどの大盛況でした。(藤)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

